

らくのへ 議会だより

令和7年
11月21日発行

No.126



六戸町議会
ホームページ
QRコード



【9月定例会】

どう使った？132億円・・・・・・・・・・2

【一般質問】

いじめ・不登校対策、雇用対策、町民バス・・・6

【議員活動レポート】

定住促進、部活動地域移行を視察・・・・12

第1回六戸学園祭

10月18日に第1回六戸学園祭が開催されました。17日の前日祭では、開祭式の後、吹奏楽部の演奏、ステージイベントがありました。ステージイベントではバンドや歌、祭囃子が行われ、児童生徒たちは大いに盛り上がりました。（令和7年10月17日撮影）



合川仁さん 合川佑さん(折茂)

教育費、六戸学園の建設で大幅増

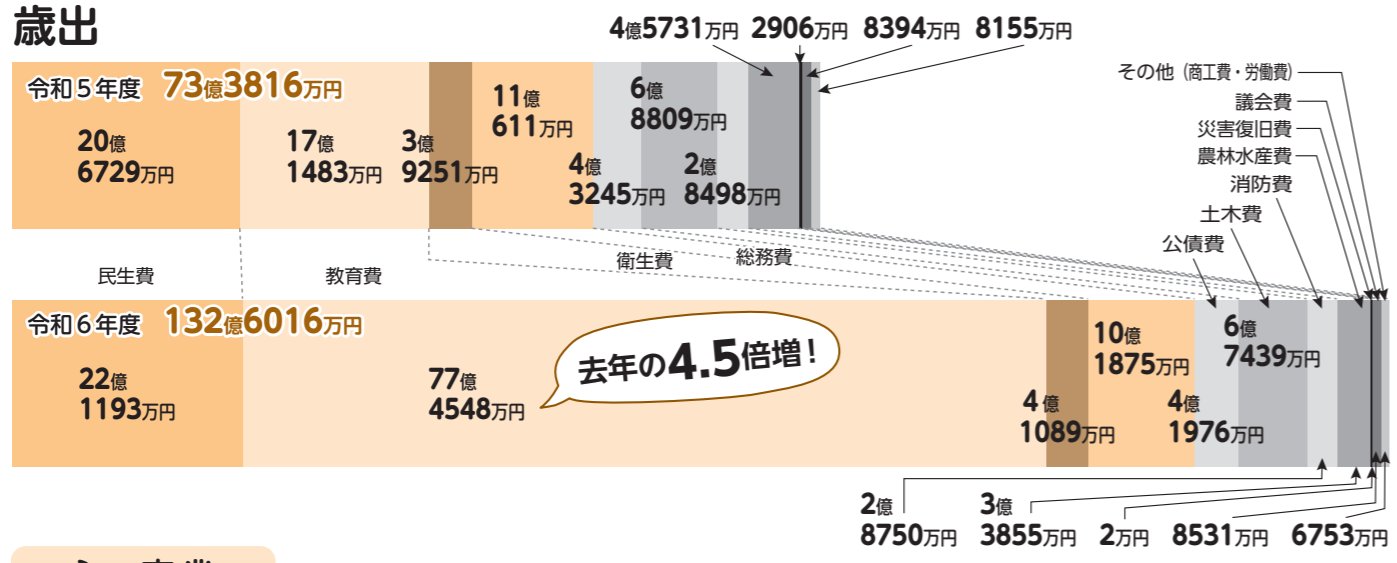
令和6年度

六戸町決算

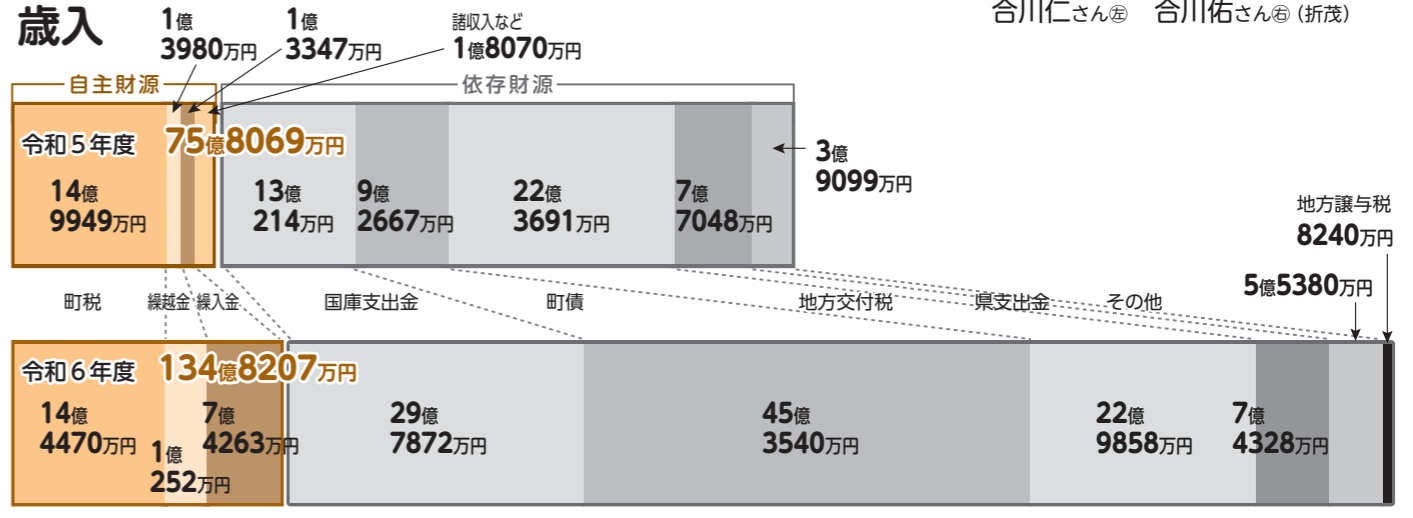
どう使った？ 132億円

※グラフの金額はすべて1万円未満を切り捨てていますので、合計とは一致しません。

歳出



歳入



主な事業

- 町民バス運行事業 1億1307万円
- 多面的機能支払交付金 5894万円
- 特定健康診査等事業費 1075万円
- 食育推進事業(ろくのへ元気プロジェクト) 200万円
- メイプルスタジアム改修事業 1億1748万円
- 青の煌めきあおもり国スポ六戸町開催競技会場等設計業務 66万円
- 町立義務教育学校六戸学園建設事業 67億1664万円
- 町立図書館建設事業 1億1190万円

※六戸学園と図書館事業については令和5・6年度の継続事業です。

監査意見 — 今後も適正運営に期待 —

令和6年度一般会計の決算額は、歳入は、前年度比59億137万円(77.8%)増の、134億8207万円。歳出は、前年度比59億2199万円(80.7%)増の、132億6016万円。

歳入では、六戸学園建設整備費に係る公立学校施設整備費負担金のほか、基準財政需要額の増による地方交付税の増額等により、大幅な増収となった。

また、歳出では六戸学園建設整備費の増加により、支出も大幅に増加した。令和6年度での一番の大きな事業は、六戸学園建設工事であったが、無事に完成し、令和7年4月1日に開校を迎えた。

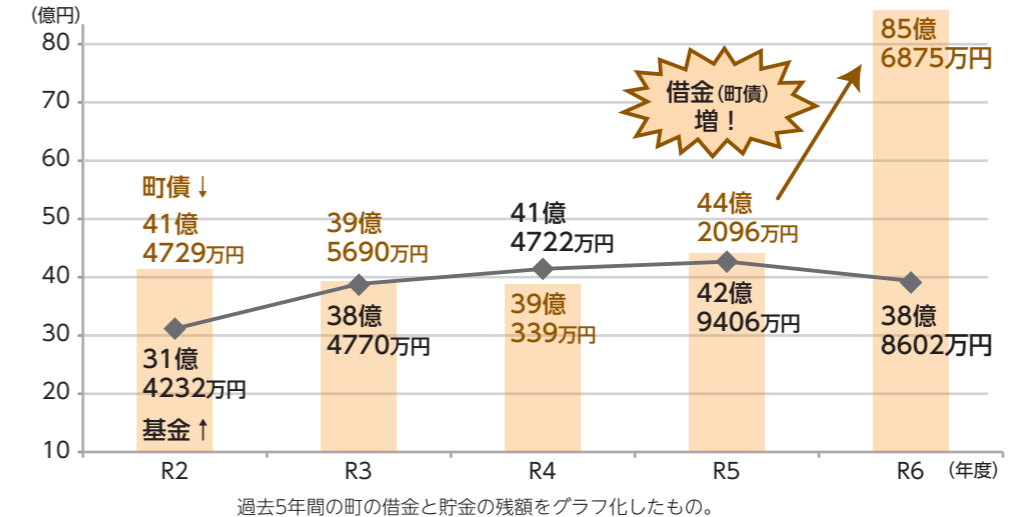
六戸学園建設整備のため、令和6年度は決算額が大幅な増となったが、定額減税補足給付金(調整給付)を始めとする、各種給付金事業や創業支援事業、令和8年度に行われる国民スポーツ大会を見据えた体育施設の改修及び農業者に対する各種補助金事業など、町民生活を支える施策も計画的に行われた。

引き続き、町税や交付金・補助金等の財源確保を行うとともに、事業の精査と歳出削減に努めながら、令和10年度から始まる六戸学園建設費の元金の償還に向けて、今後は更に健全な財政運営を行う必要がある。限りある行財政資源を有効に活用しながら、安全安心な町民生活の確保と、地域経済の停滞を招くことのない財政運営を期待する。



監査委員が決算審査を行う様子

町の借金(町債)、貯金(基金)はどのくらい？



過去5年間の町の借金と貯金の残額をグラフ化したもの。

9月定例会は、5日から11日までの7日の日程で開かれました。令和6年度の一般会計および各特別会計、公営企業会計の決算では、詳しく審議するために決算特別委員会を設置しました。

決算特別委員会では2日間の期間を設け、9日は一般会計、10日は特別会計等を慎重

令和6年度会計別の決算の状況

会計の種類	歳入(収入)	前年度との比較	増減率(%)	歳出(支出)	前年度との比較	増減率(%)	
一般会計	134億8207万	59億137万	77.8	132億6016万	59億2199万	80.7	
特別会計	国民健康保険事業	11億9619万	△4557万	△3.7	11億8166万	△3167万	△2.6
	介護保険事業	13億6022万	△6313万	△4.4	13億5328万	1317万	1.0
	後期高齢者医療	1億6793万	1898万	12.7	1億6350万	1956万	13.6
	国民健康保険診療事業	3億7176万	△419万	△1.1	3億7176万	△419万	△1.1
	特別会計の合計	30億9611万	△9392万	△2.9	30億7022万	△312万	△0.1
下水道事業会計	10億2300万			10億161万			

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てているので、合計額と一致しません

に審議した結果、全員賛成で原案のとおり認定しました。

また、定例会の本会議では、令和6年度健全化判断比率の報告、補正予算、条例制定、人事案件を含む18件を原案のとおり可決、同意しました。



クマ ~ 日本に生息するクマは主に2種類で、北海道に生息するヒグマと本州以南にいるツキノワグマです。



今回のトピックスは、野生動物についてです。



六戸町国民健康保険診療所

診療所

盛田嘉彦委員

令和6年度、診療所が町から赤字補填のために繰入した額は約1億3600万円。また補助金が、約4700万円充てられ、合計約1億8300万円。この金額に対して、町長の考えは。

町長

医療機関は数字だけで判断するものではありませんが、町の医療機関として役割を果たしているのかと考えると、疑問に感じるところもあります。

長根一男委員

診療所全体で財政赤字について意識を持たないと、なかなか難しい問題だと思う。意識を持たせるための対策は。

診療所事務長

昨年度より、町長を交え、診療所の財政はとてと厳しいと、職員全体に常日頃から伝えております。今後も情報収集しながら、何かいい手だてを探していきたいと思ひます。

下田敏美委員

診療所の内科と整形外科の患者数は。

診療所事務長

内科の患者数は1万308名、1日当たり約40名。整形外科は週1回の午前中のみ診療となりますが、患者数は1115名、1日当たり約19名です。

下田敏美委員

効率的な運営や、サービス向上のためにも、診療所の運営を民間化することも検討しては。

町長

選択肢として民営化、もしくは診療所を残すか残さないかというのを含めて、今後検討していきたいと思ひます。

ふるさと納税の返礼品

杉山茂夫委員

ふるさと納税の返礼品の開発などについては、まちづくり推進課や、六戸ブランド研究会に任せただけではなく、全庁で協議してはどうか。

町長

農家の方や六戸ブランド研究会など、様々な方と返礼品の開発に力を入れて今後協議していきたいと思ひます。

杉山茂夫委員

ふるさと納税のポータルサイトを運営している企業が主催している、ふるさと納税のセミナーを当町のものづくりに関わる方々へも行って見ては。

まちづくり推進課長

今後検討していきたいと思ひます。

■ふるさと納税 決算額 3981万円(517件)

六戸学園

高坂 茂委員

六戸学園建設の総事業費は。

教育課長

概算で六戸高校の解体事業に約3億5千万円。建設事業で73億円、図書館で4億1千万円、外構工事5億円、備品2億円、建物の解体工事を抜くと、約85億円弱になります。

松橋一男委員

図書館建設も公立学校施設等整備費負担金の補助対象となっているのか。

教育課長

図書館はその補助対象ではありません。別の起債事業で建設しています。

小松ヶ丘出張所

久田伸一委員

昨年度の全員協議会で小松ヶ丘出張所の閉所を検討していると説明していたが、その後の経過は。

町民課長

現在検討中のため、決定次第報告します。

創業支援事業補助金

高坂 茂委員

創業支援事業補助金の目的や内容は。

まちづくり推進課長

この事業は、町内で新しい事業の創出を促進し、地域の活性化と雇用の創出を図るものです。新たに事業を始める方を支えるため、最大130万円まで補助する制度です。

■六戸町創業支援事業補助金 申請2件、うち事業完了1件 決算額130万円

わたしたちのお金は？ 決算特別委員会

決算特別委員会の審査の中から、いくつかの内容を要約して紹介します。

決算額は万円未満は切捨しています。

決算に関する資料は町のホームページにも掲載されています。



一般会計等の決算のあらまし



以前、鼻血が止まらなくなり診療所に受診に行きましたが、診察も行われずに玄関で耳鼻科に行くように促されました。応急処置だけでもしていただけると助かると感じました。



成田 節子さん 柳町 72歳

成年後見制度事業

杉山茂夫委員

※成年後見制度事業の決算額が昨年度決算に比べ約3倍となっているが、今後も増加する見込みか。

※成年後見制度・・・認知症や知的障害、精神障害などで判断能力が不十分になってしまった大人を保護する制度

介護高齢課長

成年後見制度事業の町長申立実績は、令和5年度は2件、令和6年度は4件となっています。この制度の利用については、増加傾向にあります。

■成年後見制度利用支援事業 決算額 101万円

のり面の管理

長根一男委員

のり面支障木の伐採をもっと早期に行うべきでは。

建設下水道課長

早めの伐採業務が実施できるよう、相談協議しながら来年度以降の予算要求に努めます。

出産・子育て

高坂 茂委員

出産・子育て応援給付金の内容は。

福祉課長

妊婦1人に5万円、出生した子ども1人につき5万円が支給されるもので、申請時点で町に住居登録をしている妊婦及び保護者が対象となります。

■出産・子育て応援給付金 決算額 530万円 出産応援給付金41人 子育て応援給付金62人(65児)

冬になると大きくなったのり面の木が日陰になり、道路が凍って危険な箇所ができます。大きな木になる前に早めの伐採を望みます。



佐々木 宝蔵さん 岡沼 70歳





まつむら えいこ 議員
松村 英子

いじめ・不登校児対策は

状況に応じ組織的な対応 — 教育長

問 六戸学園でのいじめ、不登校児の数は。

教育長 いじめは7月末時点で前期課程6件、後期課程は0件。不登校の児童生徒は前期課程で1名、後期課程で3名の状況です。

問 六戸学園が開校して半年経過したが、いじめ、不登校への対策は。

教育長 いじめ対策として、六戸学園では5つの取り組みを行っています。

1つ目、子どもが自分を

大切にする心を育むために、自己存在感や自己有用感を高める教育活動を行っています。

2つ目、子どもが相手と

大切にすることを育むため、安心できる学校・学級風土を醸成しています。

3つ目、子ども主体のいじめ防止活動を行っています。

4つ目、いじめの未然防

止と早期発見のために、アンケートを学級ごとに実施しています。

5つ目、いじめを把握し

た際には、いじめ対策委員会を立ち上げ、組織的な対応を行っています。

次に、不登校対策では、主に4つの取り組みを行っています。

1つに、魅力ある学校にするため、自主的、自立的に活動できるようにしています。

2つに、個に応じた支援体制を整えるために、特別支援教育を学校経営の大きな柱とし、適切な指導、支援を行っています。また、



学園での子どもたちへの対応は

登校が難しい子供については、教育委員会内に教育支援センターを設置し学習指導などを行っています。

3つに、不登校を早期発見するため、※チャンス相談を行っています。

4つに、不登校傾向になった際、状況に応じてケース会議を開催したり、組織的な対応を行っています。

問 いじめ対応専門の職員を配置しては。

教育長 現在、六戸学園内に学校教育相談員を1名、教育委員会内に1名配置しています。

また、先生方の相談役として特別支援教育の専門的な知識を持っている方を1名配置し、3名体制で対応しています。

※チャンス相談

日常のちょっとした場面を利用して行う短時間の教育相談のこと

乳幼児期の

必需品の助成を

先進事例を参考に検討 — 町長

問 子育て支援の一環として、紙おむつの無償提供やベビーバス等のレンタルを実施しては。

町長 乳幼児期の必需品の助成に関しては、物品の支給など町独自の支援策はありません。財政状況に応じ、先進事例を参考に検討していきたいと思えます。

老人福祉センター

集会室にエアコンを

令和8年度に設置予定 — 町長

問 老人福祉センターの集会室には冷房がなく、近年の酷暑では、活動するにも体調面で不安がある。冷房設備を設置しては。

町長 令和8年度の当初予算において、老人福祉センターの集会室への冷房空調設備設置工事経費を計上する予定です。





ながね かずお 長根 一男 議員

町の雇用対策は

雇用拡大の施策を継続実施 — 町長

問 六戸町立地企業雇用奨励事業補助金の実績は。

町長 平成27年度に1件、補助金額は210万円、令和2年度に1件、補助金額は90万円を交付しています。

問 今後、町の財政状況が厳しくなることを考慮し、六戸町企業立地促進条例の奨励金、最大3500万円の見直しを検討しては。

町長 金矢工業団地は青森県が管轄し、分譲を行っている工業団地です。青森県の補助金制度として、青森県産業立地促進費補助金、最大で20億円を補助する優遇支援制度があり、県

でも積極的に金矢工業団地への企業誘致を進めています。そのため、当町としても県と協力し企業誘致を推進する立場にあるため、費用対効果を検証しつつ町の財政状況を踏まえながら、奨励金の見直しについて検討していきたいと考えています。

問 町の雇用を増やすための考えは。

町長 現在ある企業立地奨励金、立地企業雇用奨励事業補助金を活用した誘致企業への雇用促進を継続しつつ、創業支援事業補助金も活用し、雇用の裾野拡大を重視する施策を継続して実施していきたいと思えます。

町内会へは自主的に組織され活動している団体ですので、町として加入を強制できるものではありません。町では、町内会活動を魅力的なものにするため、町内会が自主的に企画運営する事業に対し補助金を交付していますので、このような施策を継続し支援していきたいと考えています。

町に地域おこし協力隊を

必要に応じ検討 — 町長

問 町内会への加入率は。

町長 令和7年1月6日時点での加入率は58.8%です。

問 近年、町内会の必要性を感じない人たちが増加している。町内会へ加入しない人たちへ、町としての取り組みは。

町では町内会長を対象とした地域コミュニケーションを行い、人口減少に対応した地域コミュニティづくりについての研修会を開催しています。

問 将来的に世帯数が減少し、町内会の活動が難しくなるのでは。

町長 町では町内会長を対象とした地域コミュニケーションを行い、人口減少に対応した地域コミュニティづくりについての研修会を開催しています。



地域コミュニティ維持継続セミナーの様子(7月12日実施)

今後も、町内会運営の参考となる研修会を開催し、町内会活動を支援していきたいと考えています。

問 ※地域おこし協力隊を採用する考えは。

町長 当町では、任期中の活動目標の設定や、任期終了後の移住定着へ向けての環境整備が十分に整っていないため、地域おこし協力隊事業は実施しておりませんが、必要に応じ検討していきたいと思えます。

※地域おこし協力隊 都市部から過疎地域など人口減少や高齢化が進む地域に移住した人を「地域隊員」として自治体が委嘱するもの。



やまもと みのる 議員
山本 実

町民バス利便性低下、改善策は

新たな交通手段を検討中 — 町長

問 町民バスの利便性低下に対し、代替策や改善策の考えは。

町長 現在、※デマンド交通などを含めた新たな地域公共交通手段を検討しています。

問 デマンド交通サービス導入の必要性についての見解は。

町長 デマンド交通は、利用者のニーズに応じてルートや時刻を柔軟に設定できるため、コスト削減と利便性の向上が期待できると認識しています。

※デマンド交通
利用者の予約に応じて運行する地域公共交通のこと。

問 導入を検討する場合、いつ頃から調査検討を実施するのか。

町長 地域における公共交通を取り巻く問題・課題を整理し、効果的かつ効率的な公共交通体系への見直しを図るため、国庫補助により地域公共交通の実態調査を行いたいと考えています。来年度末までに調査結果を踏まえ「地域公共交通計画」を策定し、方向性を示したいと考えています。

問 実施する場合、他自治体の成功事例や、県の補助制度を活用しては。

町長 当町にとってどの交通手段が適当なのかを検討し、他の自治体の

参考事例があれば、補助制度も含め活用を検討していきたいと思えます。

問 町民バス中央バス停待合所の暑さ対策は。

町長 利用者の健康への配慮のためにも、エアコン設置は必要と考えています。来年度設置に向けて、準備を進めていきます。



包括支援センターに併設してある町民バス待合所

町道の安全調査を

補助金を活用し調査を検討 — 町長

問 7月16日に発生した県道米田六戸線の陥没

検討したいと思えます。

事故を受け、町道、県道、国道の危険箇所を把握するための調査を実施しては。

まずは日頃の道路パトロールの充実強化に努めるとともに、青森県地下占用物連絡会議内で共有される、道路陥没を防ぐ取り組みなどの情報収集を行い、適切な対応に努めていきたいと考えています。

町長 国や県で定期的な空洞調査等を参考に、町道についても、補助金や交付金を活用した調査の実施を

フツ化物洗口の実施を

年度内実施を目指す — 町長

問 六戸学園でフツ化物洗口の実施をしては。

いるため、年度内に実施できるよう進めていきたいと考えています。

町長 県内他自治体の実績でも効果が表れて

その他のこんな質問ありました

六戸町社会福祉協議会大広間への冷房設備設置について（回答については、10ページの松村英子議員を参照してください。）



審議した議案の 賛 否

第3回定例会(開会日9月5日)

議案名		採決賛否	審査結果	採決日
報告	令和6年度六戸町健全化判断比率		報告	9月11日
	令和6年度六戸町資金不足比率			
専決処分	令和7年度六戸町一般会計補正予算(第2号)(5491万円を増額補正)		承認	
令和6年度 決算認定	一般会計決算認定	全員賛成	認定	
	国民健康保険事業特別会計決算認定			
	介護保険事業特別会計決算認定			
	後期高齢者医療特別会計決算認定			
	国民健康保険診療所事業特別会計決算認定			
	下水道事業会計決算認定			
条例制定	六戸町名誉町民条例(町政の振興や社会文化の興隆に寄与した町民等で、その功績が卓越し町民が郷土の誇りとして尊敬する者に対し、「六戸町名誉町民」の称号を贈り、顕彰する。)			
令和7年度 補正予算	一般会計補正予算(第3号)(3億3264万円を増額補正)	全員賛成	可決	
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)(415万円を増額補正)			
	介護保険事業特別会計補正予算(第2号)(4875万円を増額補正)			
	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(774万円を増額補正)			
	国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号)(1380万円を増額補正)			
	下水道事業会計補正予算(第1号)(収益的収入901万円増額補正、収益的支出277万円増額補正、資本的収入871万円減額補正、資本的支出675万円減額補正)			
人事	六戸町固定資産評価審査委員会委員の選任(佐藤隆氏=再任)	全員起立	同意	
	六戸町教育委員会委員の任命(下田勝氏=再任)			


議会を傍聴しませんか？

定例会では、町民に密接に関係するさまざまな事項が審議されていて、どなたでも傍聴できます。町政への知識を深め、町政を身近に感じるために、議会を傍聴しませんか？

次の定例会は12月5日(金)開会の予定です。

☎ 議会事務局 ☎55-4547





種市正孝議員 逝去

種市正孝議員(満62歳)が、在職中の令和7年11月3日にご逝去されました。平成27年に初当選以来、3期10年にわたり、住民福祉、教育の向上と地方自治の伸展に貢献され、その間、議員選出の監査委員、議会広報委員会委員長等を担われました。

謹んで哀悼の意を表するとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

PICK UP!

9月定例会 こんなことを審議しました

9月定例会で提出された
18件の議案等の一部を
紹介します。



条例 六戸町名誉町民条例の制定

郷土の誇りとして尊敬する者に対し、六戸町名誉町民の称号を

制定の目的

町政の振興や社会文化の興隆に寄与した町民等で、町民が郷土の誇りとして尊敬する者に対し、六戸町名誉町民の称号を贈り、その功績を顕彰します。

補正

旧学校施設の解体工事実施設計業務など

3億3264万円を増額 総額81億5264万円に

令和7年度一般会計補正予算(第3号)では、歳入歳出に3億3264万円を増額し、総額81億5264万円となりました。

補正の主な内容は次のとおりです。

- ◇地域公共交通実態等調査業務ほか 499万円
- ◇新型コロナウイルス予防接種業務ほか 1440万円
- ◇グリーンベルトの樹木剪定業務ほか 7337万円
- ◇七百地区公民館解体工事実施設計業務 3723万円
- ◇旧勤労者体育センター解体工事実施設計業務ほか 866万円
- ◇旧小中学校施設の今年度末までの光熱水費 575万円

Q&A

旧学校施設の解体工事実施設計業務ほか 8024万円

Q 種市正孝議員

旧校舎内に残されている備品等は、まだ使える物もあると思うが、今後どのようにするのか。

町民へ譲渡・販売等の考えは。

A 教育課長

現在、学園や町で使用可能な物品があるか選定をしています。その後、町内会へ広報をし、使用できるものがあれば使っていただきたいと思います。残ったものは処分になります。

A 企画財政課長

個人への販売等は、譲渡後、不法投棄や転売の心配があります。現時点では、個人への引渡しは考えていません。

Q&A

六戸学園生海外派遣事業 1000万円



来年1月に六戸学園の生徒が海外派遣で行く予定のキタリー町

Q 盛田嘉彦議員

海外派遣事業の内容は。

A 教育課長

学園生が8人、団長の外2名の計11名を、令和8年1月5日から12日までの6泊8日で米国のキタリー町へ派遣する事業です。

Q 盛田嘉彦議員

海外に行くのではなく、六戸学園にあるICTルームを活用し、国際交流を図っては。

A 教育課長

将来的には様々な事業に活用していきたいと思っています。

Q 川村重光議員

今後、町の財政が厳しくなると予想されるため、参加人数を縮小しては。また、この事業は今後も継続するのか。

A 町長

円安状況下での海外派遣人数の適正規模は、今後検討しなくてはなりません。今回はこの人数で交流事業を進めたいと考えています。

また、この事業は継続していきたいと考えています。

9/29 閉校になった学校備品の今後は

来年度、旧小・中学校等を譲渡、もしくは解体、処分するとの発表を受けて、町議会では旧小・中学校を視察しました。

使用されなくなった多くの備品（椅子、机等）や卒業記念品など多くの物がそのままに残されていました。今後、各町内会で必要な物品があれば譲り、その後全て廃棄処分される方針のようですが、各町内会に必要な物品を譲渡しても、余る物品がでてくるように感じられました。

視察を終えた後、各議員から、寄贈品や卒業記念品、表彰状等は、地域の人や卒業生、ゆかりのある人に譲った方が良いのでは。各小中学校の備品は、廃棄処分するだけでなく欲しい町民に対し、フリーマーケット

旧六戸中学校



ト等で配布してはどうか等、多数の意見がだされました。

今後、議会からでた意見を集約し、町側へ提案をしていきたいと思ひます。

議会運営委員長 久田伸一



使われなくなった机、椅子



そのまま置かれている調理器具



残されたトロフィー

毎朝のラジオ体操 🎵🎵🎵🎵

熊野神社ラジオ体操会が始まって、今年でまる10年になります。毎朝6時30分、神社に参拝した7～10名が輪になって挨拶がてらの10分間のラジオ体操。

弘前城でも札幌の大通り公園でも、全国各地で全国の皆さんと一斉にラジオ体操をしているのだと思うと、何万人か何十万人か・・・毎日、勇気が湧いて来ます。

昨年、青森市で全国ラジオ体操連盟主催の指導者講習会があり、一つ一つの動作や意図する事など大変参考になりました。また地域住民の健康増進とコミュニティ活性化に資する施策としても、全国の自治体から好評を得ているとのこと。

先日、青森県ラジオ体操連盟の方から「住みたい街」や「六戸学園」など六戸町がクローズアップされているこの機会に、「2026年度巡回ラジオ体操 みんなの体操会」を開催したらと勧められました。



広報委員の
ちょっとひと休み

ぜひ来年の夏には、六戸学園の校庭か体育館で児童生徒と町民そしてNHKスタッフが一緒になって、全国生中継のラジオ体操が実現できればと願っている一人です。

杉山茂夫



熊野神社でラジオ体操をする様子

先進地から学ぶ

他自治体で取り組んでいる独自の事例を視察研修してきました！視察した内容を要約してご紹介します。

各常任委員会県外行政視察研修へ

産業

定住促進、スマート農業

7/23

宮城県富谷市で幸福度ランキング1位の定住促進等の施策についてをテーマに研修を行いました。

富谷市は、当町のような定住促進補助といった施策は行っていないものの、仙台市に隣接する地理的条件の良さから、民間企業が主導して団地や宅地等の造成を行うことで、人口が増え続けているとのことでした。

しかし、この立地特性のみに頼ることはせず、企業誘致、起業・創業への支援を積極的に進め、雇用の場を創出すると同時に、子育てがしやすい自然環境、教育環境の整備を行い、子育て世代から好まれるまちづくりに取り組んでいるところが印象に残りました。

7/24

宮城県大崎市のヤンマーアグリジャパン(株)でスマート農業の研修を行いました。農

業が抱える高齢化や就業者不足、また、法人化等で大規模に作付けしている農家にとっては、最先端技術を活用することで問題は解消されていくと感じた反面、高額な機械の価格等、小規模経営の農業に合った作業支援や

経済支援について今後は考えていかなければならないと感じました。

産業民生常任委員会

委員長 長根一男



富谷市から説明を受ける



総務

教育と部活動の地域移行

10/28

宮城県名取市閑上小中学校で魅力と特色のある義務教育学校をテーマに研修を行いました。

閑上小中学校は、東日本大震災で壊滅した学校の再建により生まれた義務教育学校で、開校から8年目を迎えています。特色は、校内に設置してある郷土資料室で、地域の歴史文化等を学ぶ。また、心のケアに取り組む体制づくりや防災教育と備蓄・避難所の機能を併せ持っているところと感じました。同校は、小中一貫教育を導入したものの、学力の向上はみられないとの報告があり、教育体制の構築の難しさを感じました。

6、7年生時の卒業式、入業式がないため、4年生の10才の誓い、7年生の立志式は六戸学園でも参考になると感じられました。

10/29

宮城県巨理町で部活動の地域移行について研修しました。

巨理町では、学校部活動の地域移行を段階的に進めており、今年10月以降、中学校の部活動は平日のみ実施、長期休業期間中もこれに準じています。休日のスポーツ・文化芸術活動を希望する生徒は、保護者・関係者と協議し、地域クラブ活動に参加しますが、部活動地域展開実証事業として指導者派遣や保護者の見守り活動支援、地域クラブ活動団体に対し、町が指導助成や保険・消耗品の経費を負担していただきました。部活動の地域移行は、地域ぐるみの支援体制の仕組みを構築することの重要性を考えさせられました。

総務常任委員会

委員長 山本 実



野生動物トピックス

青森県の鳥獣被害額、1位ツキノワグマ4161万円、2位ニホンザル1248万円、3位イノシシ747万円、4位ニホンジカ690万円、5位ハクビシン623万円となります。(農作物2023年より)

六戸学園、町のこと

学園の保護者から

生の声

を聴きました



六戸学園と町についてをテーマに開かれた意見交換会



自由に意見を交わす



保護者の生の声を聴くことができた

住民の皆さんの率直な意見を町政に反映させるために、議会はこれまでさまざまなテーマで対象者を設定し、「意見交換会」を開催してきました。

今回の意見交換会の対象者は**六戸学園の保護者の皆さん**です。

六戸学園が開校して約半年経過し、学園をどう感じているのか、また町についてどのように感じているのか、ざっくばらんに話し合いを行いました。

今回は寄せられた意見の一部を紹介いたします。

日程・会場の参加人数

日付 10月22日
会場 六戸学園内
参加人数 14人

みなさんの声

六戸学園について

- ・ 学園内に意見箱を設置して欲しい。
- ・ 行事を全て1年から9年で行う必要性は？
- ・ ステージで分けたり、前期・後期で分けたりしてもいいのでは。
- ・ スクールバス停留所の待合場所を屋根付きに。
- ・ 高学年がトイレ前に集まっている、低学年の子供がトイレに行くのが怖いと言っている。

六戸町について

- ・ 子供たちが遊ぶ所が全く無い！（今の時代が求めている場所がない）
- ・ 新しい町のイベントを！
- ・ 街灯がもつとほしい（小松ヶ丘）
- ・ 部活動での活動場所が少ない。
- ・ 町からの発信が少ない。情報が届かない。

いただいた声を生かすように！

意見交換会でいただいた要望や意見などは、今後議会内で整理し、課題の解決や、実現に向けて活動していきます。





Interview



六戸学園生徒会長

やま うち はる みち
山内 啓路 さん^⑥

ぬま お み な み
沼尾 南風 さん^⑤

■プロフィール *六戸学園初代生徒会長は今年度のみ2名体制です。
山内さんは上吉田在住。旧六戸中学校出身。六戸学園9年生。将来の夢、建築士。趣味は読書、音楽鑑賞。兄妹、父母の5人家族。
沼尾さんは沖山平在住。旧七百中学校出身。六戸学園9年生。将来の夢、公務員。趣味は音楽鑑賞。弟、父母の4人家族。

約半年間 学園で過ごって

山内さん 1から9までの学年と交流できることで、友達がたくさんできました。色々な話題も多く集まってくるし、活気があつていい学校だと感じています。学園内が広くて明るいので、開放感があつて来るのが楽しいです。

沼尾さん 昨年まで小学生がいなかった中学校で2年間過ごしていたので、上手く交流できるか不安でしたが、学園生活が始まってみると、全学年と交流ができたので、学年間の壁は自分が思っていたほどではなかったと感じています。とても過ごしやすい学校です。

今後こんな学園に

山内さん 今はこの学園生活を楽しく気持ちが強くなり、落ちつきがない場面がみられます。各学年がもっと冷静さを意識

して、メリハリを持って行動することができたらいいなと思います。

沼尾さん 六戸学園は小・中学生両方いるので、中学生の考えだけじゃなくて、各学年のユーモアのある考えも取り入れながら、ひとりひとりが考えて、より良くしていけたらいいなと思います。児童生徒全員で協力して新しい学園を創り上げていきたいです。

生徒会長として

山内さん 昨年の選挙の公約で掲げた、仮眠時間をつくるを実現させたいです。授業中、眠そうなお人があるので、昼休みなどに仮眠を取る時間をとって、頭をスッキリさせて午後の授業に挑むと、集中力が上がるんじゃないかと思っています。

沼尾さん 僕は学校間の壁をなくすことが公約だったので、今行っている2つの学年のみの交流(ハートフルタイム)だ



六戸学園祭で行われた全校合唱

けではなくて、全校で交流ができる機会を設けて、何かできたらいいなと思っています。

議会にひとこと

山内さん・沼尾さん 六戸町に休日にもみんなで集まれる場所、または遊べる施設があったらいいですね。今は友だちと遊ぶときは三沢のカラオケに行ったり、下田のイオンに自転車で行ったりしている場所であれば、みんなどこにでも遊びに行くと

思います。

編集後記

今年も実りの秋となりました、農作物も豊作で農家にとってはこの上ない喜びではと推察します。さて六戸学園も開校し、廃校後の処置が大きな問題となってきました。大曲小と開知小はそのまま、六戸小、六戸中、七百中(講堂は残す)、旧昭陽小、勤労者体育館、七百地区公民館は解体することとなりました。

そこで、各施設の備品をどう処理するかが検討されております。議会では、各学校の備品等を視察し、どのような処分方法をしたらいいのか、提案する運びとなっております。皆さんも考えてみては？

議会広報委員会

委員長 松橋 一男
副委員長 松村 英子
委員 盛田 嘉彦
長根 一男
杉山 茂夫
高坂 茂

発行責任者

議長 下田 敏美

聞き手 杉山 茂夫
松橋 一男